

人材養成および教育研究上の目的

情報・制御システム工学専攻においては、情報処理、情報伝送、システム制御及び機能デバイスの領域において、最先端の研究・開発を行うことにより自立的に問題を解決する能力を有し、情報社会や基盤産業の変化に対応できる広い視野と思考力を備え、高度な専門性をもって国際社会に貢献できる技術者および研究者を育成することを目的とする。

三つの方針（三つのポリシー）

学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)	学生の受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)
＜博士課程後期＞		
<p>工学研究科情報・制御システム工学専攻においては、人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に、博士（工学）の学位を授与する。</p>		
<p><b>知識・理解</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 高度な専門的業務に従事するための基礎となる豊かな学識を有する。(DP1)</p> <p><b>【到達指標】</b> 情報社会や産業基盤の変化に対応できる広い視野と思考力を有している。(DP1)</p>	<p><b>【求める学生像】</b> 一般入試： 専門分野の十分な基礎力、独創的な発想力、学問的な探究心などを有し、自立して積極的に研究活動に取り組む人 社会人入試： 専門分野の十分な基礎力、独創的な発想力、学問的な探究心などを有し、社会での実務経験を通して抱いた問題意識を踏まえ、自立して積極的に研究活動に取り組む人 留学生入試： 専門分野の十分な基礎力、独創的な発想力、学問的な探究心などを有し、グローバルに活躍する意志を持ち、自立して積極的に研究活動に取り組む人</p>
<p><b>技能</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 高度な専門的業務に従事するために必要な高度の研究能力を有する。(DP2)</p> <p><b>【到達指標】</b> 最先端の研究・開発を実施し自立的に問題を解決する能力を有している。(DP2)</p>	<p><b>【入学者選抜の在り方】</b> 一般入試 ・情報・制御システム工学分野の研究実施に耐える基礎力を有しているかを英語、専門科目、面接によって判定する。 ・情報・制御システム工学分野の研究において自立的に業績をあげる発想力と探究心を有しているかを面接によって判定する。 社会人入試 ・情報・制御システム工学分野の研究実施に耐える基礎力、ならびに同分野の研究において自立的に業績をあげる発想力と探究心を有しているかを小論文と面接によって判定する。 外国人留学生入試 ・情報・制御システム工学分野の研究実施に耐える基礎力を有しているかを英語、専門科目、面接によって判定する。 ・情報・制御システム工学分野の研究において自立的に業績をあげる発想力と探究心を有しているかを面接によって判定する。 ・日本語および英語コミュニケーション力については、語学検定試験のスコア、ならびに面接によって評価する。</p>
<p><b>態度・志向性</b></p>	<p><b>【学修成果の目標】</b> 研究者あるいは技術者として独立立ちする姿勢を持つ。(DP3) 高度な専門性をもって国際的に貢献できる能力を有する。(DP4)</p> <p><b>【到達指標】</b> 研究者あるいは技術者として自立的に問題解決の術を探求する姿勢を有している。(DP3) 自身の研究成果を国際的に発信する能力を有している。(DP4)</p>	<p><b>【教育課程の編成】</b> 情報処理、情報伝送、システム制御および機能デバイスの領域において定めたテーマに基づく研究を実施する研究指導科目群（特別研究）、ならびに関連する専門分野とその境界分野を加えた特修科目群（特論）を設置する。</p> <p><b>【教育課程の実施（教育方法・授業形態等）】</b> 特別研究において、学生が最先端の研究・開発のプロセスを学び、自身のテーマに設定した問題を解決する方策を自立的に探求できるよう主指導教員の指導し、副指導教員は助言を行う。また、研究成果の外国語による発表の機会を設ける。</p> <p><b>【学修成果の評価方法】</b> 特別研究における主／副の指導教員を前にした期末報告会における評価により判断する。(DP3) 日本語および外国語による論文／学会発表の件数により判断する。(DP4)</p>